

第19回 教育文化講演会

令和元年
7月31日(水)

主催 浦添市教育委員会
主管 浦添市立教育研究所
後援 浦添市立小・中学校校長会

浦添市てだこホール 大ホール

14:15～16:30(13:45受付)

道徳授業づくりと評価の在り方

今回の学習指導要領の改訂では、問題解決や体験的な学習なども取り入れ「考え、議論する」道徳教育を目指しています。また、「何を知っているか」だけでなく「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の資質・能力にまで引き上げることを目指すとしており、教師は今まで以上に多様な展開と指導方法の工夫が求められています。

そこで、「考え、議論する」道徳教育について、畿央大学大学院教育学研究科教授の島恒生氏の講演会を通して「道徳授業づくりと評価の在り方」について学び、教師の指導力を高めていきましょう。

13:45～ 14:15	14:15～ 14:30	14:30～ 16:00	16:00～ 16:15	16:15～ 16:30
受付	開会行事	講演	質疑応答	閉会行事

講師：島 恒生 氏
畿央大学 大学院教育学研究科 教育学部現代教育学科長



奈良県公立小学校教諭、奈良県立教育研究所教科指導副部長を経て、畿央大学教育学部教授。

文部科学省「小学校学習指導要領解説道徳編作成協力者」、「小学校道徳読み物資料集作成協力者」、「道徳教育に係る評価の在り方に関する専門家会議」委員。

中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会道徳教育専門部会)を務める。

道徳教育、生徒指導、学級経営等についての執筆多数。

全国の教育委員会や学校での研修会講師として活躍。